



## 時局に思う

日本遺族会会長  
参議院議員  
水落敏栄



(昭和25年5月15日可)

4月22日、靖国神社の  
参拝団を予定してお  
りましたが、大都市圏で  
の感染再拡大を受け、東  
京都、大阪府等に緊急事  
態宣言が発出される状況  
に鑑み、急きよ参拝団での  
参拝を取りやめ、尾辻会  
長、事務局長の水落での  
代表参拝に変更させてい  
ただきました。

議員連盟での集団参拝  
は、新型コロナウイルス  
の感染拡大を受け、令和  
元年10月の秋季例大祭を  
最後に実施出来ずにお  
り、恥辱だるいです。  
一人でも多くの議員に参  
拝していただくべく、各

都道府県遺族会事務局か  
らも地元選出の国会議員  
に呼びかけをしていただき  
たおかげで、例年以上

の皆さまに参拝をお掛けし、申し訳ない気持ちでいっぱいです。

そこで今回は、遺族会活動の柱であり、英靈顕彰の根幹である国会議員による靖国神社への参拝の重要性について、お話を

足されました。設立趣意書には、「世界のいずれの国においても、英靈に

は、みんなで靖国神社に参拝する」の趣旨であります。

私は、靖国神社に参拝する

が、我が國の平和の礎となりました。靖国神社に参拝する

が、我が國の平和の礎となりました。靖国神社に参拝する

が、我が國の平和の礎となりました。靖国神社に参拝する

が、我が國の平和の礎となりました。靖国神社に参拝する

議員が選出され、衆参2

59人の会員を得て設立

されました。

当時、総理の靖国神社参拝が、政教分離の観点や、昭和殉難者合祀に伴う諸外国からの批判を受け、政争の具になりました。

こうした中、戦中戦後

を戦地や混乱する国政に

おいて迎えた経験を持つ

多くの議員が憂慮し、国民の代表たる国会議員

が、我が國の平和の礎とな

った数多の英靈を祀

る靖国神社に参拝する

議員が揃って参拝するも

の例大祭、8月15日終戦の日には、閣僚はもとより多くの議員が豪華に、国

民の代表たる国会議員

が、まずは我が國の安寧

のために散華された英靈

ほど減っていますが、

年が経過し、会員数はさ

り、戦争がもたらした悲しみ、憎しみ、苦しみ

が、我國の平和の礎とな

った戦争がもたらした悲しみ、憎しみ、苦しみ

片親に対する世間の偏見

など、戦争がもたらした

片親に対する世間の偏見

が、我國の平和の礎とな

った戦争がもたらした

片親に対する世間の偏見

が、我國の平和の礎とな

った戦争がもたらした

片親に対する世間の偏見

が、我國の平和の礎とな

った戦争がもたらした

片親に対する世間の偏見

が、我國の平和の礎とな

った戦争がもたらした

が、我國の平和の礎とな

った戦争がもたらした

片親に対する世間の偏見

が、我國の平和の礎とな

った戦争がもたらした

片親に対する世間の偏見

が、我國の平和の礎とな



